

切 っ 子

第9号



学校目標 「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成

文責 菊池 典男

◆ 全校朝会で3つのことについて話をしました！！

12月1日(火)に12月の全校朝会がありました。全校朝会では、①学習のまとめ ②3つの揃える ③思いやりの心について話しました。

学習のまとめの話では、人は学習したことを繰り返し行わなければ身に付かないことを孔子(今から2,550年前の中国の思想家)の「韋編三絶(いへんさんぜつ)」の話を織り交ぜながら話しました。韋編三絶とは孔子が書物(韋編)を何度も読み直し、書物を綴っていたひもを何度も切った(三絶)故事からできた言葉です。学んだことは何度も繰り返し行うことで、身に付くものです。2学期に学んだことを何度も復習して、身に付けてほしいことを話しました。

三つの揃える(準備力)の話では、学校生活や学習の見通しをもって、事前に必要なものを準備することの大切さを話しました。準備力は成長とともにぜひ身に付けてほしい力の一つです。2学期は1学期に比べかなり習慣になった子どもが増えましたが、全員ができていけるまでもう少しですので、家庭でも「名札、とがった鉛筆5本、宿題」が揃っているか、声をかけていただくとありがたいです。

思いやりの心の話では、11月にソーシャルスキル・トレーニングの学習で「やさしい言葉かけ」を学習したことや、11月の代表委員会で、「思いやりいっぱい切木小」にするための話し合いが行われ、全校で遊ぶ(12月8日実施済み)、思いやりの木の掲示(よい行いをした人を掲示して紹介)、校区内ボランティア清掃活動(12月18日実施予定)の3つの取組を決めたことを中心に、これらの取組を通して、より一層思いやりいっぱいの学校にしようという内容のことを話しました。

葉っぱに書かれていた5年生と6年生の内容を紹介します。

莉子さんが、低学年にボールをわたしていて、やさしかったです。 ゆかより

湊さんが、休み時間にイチヨウの葉を掃除していた。 鈴より



◇ 自分を大切にしよう！！はっきり拒否できるようになろう！

12月のソーシャルスキル・トレーニングは、嫌なことをさせられそうになったり、乱暴なことをされそうになったりした時に、「嫌だからやめてほしい」という強い気持ちを伝えること」の大切さについて学びました。学習では下校の時にカバンを持たされそうになる場面を設定し、子どもたちはカバンを持たされるのを拒否する練習をしました。学習のポイントは3つあります。

一つ目は、落ち着いて断る勇気をためること。**二つ目**は、相手の目を見ること。**三つ目**は、はっきり拒否することです。

子どもたちは、経験がないのか、嫌なことをしてくる相手の目を見ることや強い口調で「嫌だ」と伝えるのが難しかったようです。

はっきり拒否できるようになることは、自分を大切にすることであり、安心して学校生活を送れることにつながります。ぜひ身に付けてほしいソーシャルスキルですので、家庭でも話題にしていいただければ幸いです。

劇でも強くいうのは難しかったです。私は何かをおしつけられて断ることができないことがありました。でも今日のことを学んではっきり伝えようと思いました。しっかり嫌というと相手の反応がどうか怖いけど、ずっとされるよりいいと思うので頑張ります。

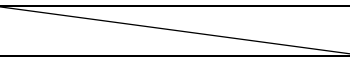
6年 平田 胡桃



◇ 大きな成長がみえた2学期でした！！

12月に児童への全校アンケートを実施しました。

※ 数値は肯定的な回答の割合で、1/10 を四捨五入しています。  は7月に実施していません。

質問内容	7月22日実施	12月11日実施
① 学校が楽しい	89%	△95%
② 授業は分かりやすい		△98%
③ 元気なあいさつ・返事をしている	84%	▼76%
④ 「3つの揃える」ができています	73%	△84%
⑤ 友達や先生の話をしっかり聞いている	80%	△87%
⑥ 気づいたら、考え、行動する	76%	△80%
⑦ 授業を意識した家庭学習の計画ができる	73%	△86%

7月のアンケートと12月のアンケートを比較してみました。ほとんどの内容で改善が見られました。このことは、子どもたちのがんばりと保護者の方のご理解とご協力、先生方の日々の努力の賜物だと思います。

特に、学校が楽しいと回答した児童が95%と上昇したことは、うれしいかぎりです。これまでコロナ禍の影響で行事を中心にいろいろな制限をしてきました。そのような状況にあっても目標に向かって精一杯がんばった子どもたちがたくさんいたことや、分かりやすく達成感のある授業が行われてきたこと、子ども同士が仲良く学校生活を送っていたことなどが要因だと考えます。

さらに、授業を意識した家庭学習を計画できる児童が増えています。本校では、生涯学び続けることができる力を育むために授業で学習したことを家庭の学習に生かす、家庭で学習したことを授業に生かすというように、授業と家庭学習が往還するような授業づくりを実践していることが要因だと思います。

改善すべき点としては、冬になり寒くなったことも影響しているかと思いますが、「元気なあいさつ・返事」をしていると回答した児童が少なくなった点です。寒さに負けず「元気なあいさつ・返事」をがんばってほしいと思います。

◇ おめでとう！！がんばったね！

○ 学童美術展 県準特選

1年 石田 真登さん、1年 濱口 実優

※ 2人の作品は1月に紹介します。

○ 令和3年度 唐津市人権カレンダー掲載

1年 堀田 蓮人さん（右の絵です）

6年 出 鈴 さん（下の標語です）

「考えよう 自分にできる 思いやり」

○ お題「コロナにおもう」 川柳 （肥前町青少年育成協議会、応募総数 347 点）

優秀賞 2年生 坂本 真斗

「わるいのは コロナウイルス 人じゃない」



◇ 心のアンケートの結果です！

今回のアンケートで、いじめ事案が2件ありました。「いじめを減らすことは大切であるが、いじめを看過しないことがもっと大切なことである」ということを教職員全員で共通理解し、子どもたちの人権を守るよう努めていきたいと思っています。

◇ 教職員の指導に関するアンケート調査、ありがとうございました！！

教職員の指導に関するアンケートへの記入・提出ありがとうございました。「指導の行き過ぎ」や「体罰」はゼロでした。これからも適切な指導に努めていきたいと思っています。